

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

12月号 特集：インターナショナル・ミュージック・フェスティバル

YMCA チャリティーコンサート



編集発行人：濱塚有史 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019(623)1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

イキイキキラキラ輝く姿

越前谷洋子（盛岡YMCA常議員）

「ウチの近くの公園でサッカーを本格的に練習している子どもたちがいるんだけど、その教えているお兄さんたちの（リーダーさんのことらしい）言葉遣いや態度が凄く感じがいいの。子どもたちも真剣で礼儀正しく、みんなとても楽しそうなの。ベビーカーを止めて、しばらく見入ってしまった～この子が1年生になったら絶対にあのチームに入れてもらいたいな～」結婚して長橋地区に住んでいる娘が、その日の来るのが待ち切れないとも言えるような表情で、嬉しそうに話していたことがあります。その方たちがYMCAのサッカークラブであることを知ったのは、少し後になってからのことでした。常議員としてこの働きに関わることになりリーダーさんたちのイキイキと、そしてキラキラ輝く姿に接し「ああ、この方たちのことだったんだ。」と妙に納得が行ったことを覚えています。混沌とした時代にあって、こうしてボ

ランティアリーダーとして活動する意思を持った若い方たちの存在があるということに、大きな安心感を覚えたものでした。そしてリーダーさんたちは勿論のこと、集う子どもたちもYMCAにあって多くのことを学び、吸収し、いつの日か自信を持って堂々と社会に羽ばたいて行って欲しいと願わずにはられません。

また、一時期、闘病中であった私の元にYMCAから野外活動時の写真入りハガキが折に触れて届き、そのたびに若い方たちの溢れるエネルギーが伝わって来て、病と闘うための大きな励ましと慰めを頂いたものでした。

次代を担う子どもたちの健全な心と体を育むために、着実に、そして確かな活動を続けているこの働きを、微力ながらも陰ながらも支え、心から声援を送り続ける一人でありたいと思っています。



第7回盛岡YMCA

インターナショナル・ミュージック・フェスティバル



11月21日（日）盛岡劇場タウンホールにおいて第7回インターナショナル・ミュージック・フェスティバルが開催されました。今年も様々な国出身の方々が歌や踊り、演奏を披露してくれました。中には踊りの途中に突然お客さんの手を取り、ステージの上で一緒に踊ったり、お客さん全員に立ってもらい、踊りのレッスンをし、その後の演奏に合わせてみんなで踊るなど、出演者と観客が一緒になり楽しんでいました。最後は毎年恒例の「アンサンブルこずかた」に合わせてみんなで大合唱。沢山の人の力を借りて、今年も楽しく、元気の出るコンサートを行うことができました。益金は、横浜YMCAを通じてタイ・バンコクYMCAが運営する、人身売買から子どもたちを守る児童保護センター「パヤオセンター」エイズ孤児ケアセンター「ハッピーホーム」の支援に充てられます。協賛して下さった企業の方々、出演して下さった各団体、グループの方々に感謝するとともに、来年ももっと素晴らしいステージを作りあげて行こうと心に誓いました。



司会は、毎年恒例のYMCA小川スタッフと今年初めての辻田（スカイ）リーダー



パリに伝わるウエルカムダンスを披露した「サンガル アユ」の皆さん

エルヒラソル（フラメンコ）の皆さんは、大きなアバンコ（扇）を持って、華やかに踊ります。



カ ヴァイレレ オ ヌウアヌ（フラダンス）の皆さんは今回初参加



カサ・デ・ラ・サルサ・モリオカ・クラブの皆さんは、サルサの生演奏。この後、会場の皆さんに簡単なステップを伝授してくれました。



毎年、大好評のアンサンブルこずかたの皆さんの演奏。



世界のファッションショー。韓国、ネパール、カナダ、アメリカ、ベルギー、パラグアイ、スペイン、日本、メキシコ、サウジアラビアの衣装を披露。

国際協力募金街頭募金



街頭募金活動

11月23日（祝）盛岡YMCAの街頭募金活動が大通りを中心に行われました。YMCAの様々な活動に参加する小、中学生のメンバーや、ワイズメンズクラブ盛岡のメンバーの皆さん、そして大学生のボランティアリーダーのメンバーが当日は集合し、各担当の場所で道行く人々に募金の協力を呼びかけました。その結果今年116,210円という沢山の皆様のお気持ちを受け取ることが出来ました。今回の益金はチャリティコンサートと同様、横浜YMCAを通じてのタイの「パヤオセンター」「ハッピーホーム」の支援に充てられます。街頭募金に携わってくださった全ての方々への感謝を忘れずに、沢山の暖かさを受けたものとして、これからの日々の中で返していきたいと感じました。本当に有難うございました。



★YMCAの国際協力募金にご協力下さい。★

YMCAの国際協力募金、すべての人々が、国・民族・宗教の違いを認め合い、平和にいきいきと暮らすことが出来る社会を作り出すための国際協力・地域奉仕活動に用いられます。盛岡YMCAは、タイ・バンコクYMCAが運営する、人身売買から子どもたちを守る児童保護センター「パヤオセンター」並びにエイズ孤児ケアセンター「ハッピーホーム」を「インターナショナル・ミュージック・フェスティバル」「街頭募金」「チャリティ・フットサル大会」「国際協力募金活動」などの活動を支援して来ました。2009年度は、225,825円を送金することが出来ました。来年3月末日まで募金活動は続きます。ご協力お願い申し上げます。

★ 国際協力募金は、同封の郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、最寄の郵便局からご送金下さい。

郵便振替用紙記入例

感謝
 2010年度 12月5日現在
 順不同・敬称略
●国際協力募金●
 Michael Jackson (匿名) 吉田光希 (サッカースクール) 庄司翔太 (学童保育) 三上彩音 (水泳教室) 川村愛望 (学童保育) 鈴木聖流 (学童保育) 関まなか、関希 (ベスト・キッズ) 菊池崇江 (ワイズメンズクラブ) 及川響 (ジュニアユースサッカー) 山本真大 (ベスト・キッズ) 西里龍哉 (学童保育) 濱塚牧人 (ジュニアユース) 濱塚直樹 (メンバーOB) 矢田部直輝 (ベスト・キッズ) 菅原陸・終・空 (ベスト・キッズ) 阿部実結 (学童保育) 伊藤柊馬 (ベスト・キッズ) 三上隆生・絢士 (ジュニアユースサッカー) 廣田貴大 (サッカースクール) 高橋翔汰 (水泳教室) 吉田伶 (学童保育) 宮野桐次 (水泳教室) 田村孝太 (水泳教室) 山崎詩織 (学童保育) 阿部春陽 (学童保育) 小船秀斗 (水泳教室) 千葉代子 (ワイズメンズクラブ)

パヤオセンターボランティアスタッフ 中元さん報告

8月・9月と続いたスタディツアーの受け入れが終わったあと、子どもたちは試験期間に入り、机に向かって勉強している姿をよく見かけるようになりました。試験前は提出物もとても多くて私は英語や美術などの宿題の手伝いをしていました。一番印象に残っているのは高校1年生の子どもたちの英語の課題で、英語の劇をすることでした。しかもテーマは「人身売買」です。自分たちで決めたというのだから驚いてしまいました。短い内容ではありますが、台本も子どもたち自身で考えたものです。私は台本を訳す手伝いを頼まれて劇のことを知りました。普段は演技することに慣れている子どもたちですがさすがに英語を暗記して演技するのはとても大変そうでした。せっかくの機会だったので観に行きたかったのですが、自分たちのクラスで発表するだけのものだったので観られずに残念でした。こどもたちが学校から帰ってきて、「先生に誉められた！」という報告を受けてとても嬉しかったです。(写真右端：中元博美さん)

※ 横浜YMCA ～Protect a Child～NEWS LETTER 2010 ☆Autumn☆ より記事抜粋



社会人になった

シロクマリーダーの料理教室②

家村知佳



バタバタと忙しい時期になってきましたね。あっという間に12月です。YMCAの活動でも冬のキャンプが始まります。ということは、お弁当が必要になりますね！

今回はお弁当のおかずやちょっと物足りないときのもう一品にも便利な超簡単レシピをご紹介します★

今回の主役は「白菜」です。冬と言ったら鍋!!鍋と言ったら白菜!!と言えるくらい、これからの時期には欠かせない食材ですね。しかし、今回紹介するのは鍋ではありません。

今回のレシピは「塩もみ白菜のゴマ和え」です。

【材料】 (2人分)

白菜 (軸の部分が良い) 100g、塩 ひとつまみ
 A (白すりごま 大1/2、ごま油 小1/4、しょうゆ 少々)

【作り方】

- ①白菜の軸は繊維に直角に4～5cm長さの細切りにし、塩をふる。
- ②①の白菜がしんなりしてきたら水気を絞り、Aを入れて和える。

白菜は葉の部分より軸の部分にグルタミン酸が多く、うま味が詰まっているんです。鍋で余ったものを使ったり、あまり時間がないときでもパッと作って食事に野菜を取り入れていきたいですね。

12月の予定

- ★12月15日(水) 水曜水泳教室 2期終了
- ★12月16日(木) 中学生準備英語木曜コース 中学2年生英語 2期終了
- ★12月16日(木) 松園サッカー 2期終了
- ★12月16日(木)

- キッズ・クリスマス 日本基督教団 内丸教会
- ★12月17日(金) 篠木サッカー 2期終了
- ★12月18日(土) 本町サッカー 2期終了
- ★12月20日(月) 土淵サッカー2期終了
- ★12月20日 中学生準備英語月曜コース 中3長文読解英語 2期終了

- ★12月21日(火) 盛南サッカー2期終了
- ★12月21日(火) 火曜水泳教室 2期終了
- ※ ふれあいランド岩手で実施
- ★12月23日～24日 クリスマスキャンプ (於：国立岩手山青少年交流の家)
- ★12月26日～12月29日 エンジョイスキーキャンプ (於：八幡平リゾートスキー場)

- ★12月26日～12月29日 前潟ウインタースクール (於：YMCA前潟センター)
- ★12月26日～30日 英語冬期講習会 対象：小学5～6年生 (於：YMCA本町センター、YMCA前潟センター)
- ★12月27日～12月29日 ジュニアスキーキャンプ (於：八幡平リゾートスキー場)



感謝

2010年度
順不同・敬称略

維持会員

- 菊池崇江、熊谷太、鶴丹谷三千代、水田賢次、新里ちえ子、金田一世美子、重石桂司、大関靖二、長谷川精一、北田アユ子、田村治江、伊藤克見、伊藤喜代、濱塚秋二、濱塚れい子、布川雅樹、布川直子、神永瞳、小畑孝子、松尾聡子、及川茂夫、及川恵、川守田浩、晴山真理子、工藤直子、竹内一真、清水弘一、吉崎陽、千葉代子、今松桂子、金野東輝子、井上修三、井上優子、井上浩太郎、阿部靖、今野聖子、今野健男、金田節子、中原眞澄、古澤伸、角谷晋次、角谷千代子、佐藤翔、伊藤眞一郎、伊藤みどり、長岡正彦、越前谷洋子、池田二郎、石渡隆司、濱塚有史、濱塚真美

寄付金

- 熊谷太、水田賢次、長谷川精一、伊藤克見、伊藤喜代江、布川雅樹、布川直子、神永瞳、及川茂夫、及川恵、川守田浩、工藤直子、清水弘一、吉崎陽、今松桂子、杉下一郎、井上修三、阿部靖、今野聖子、中原眞澄、角谷晋次、佐藤翔、伊藤眞一郎、伊藤みどり、越前谷洋子、池田二郎、石渡隆司

★維持会員★

盛岡YMCAは、1983年から活動を始め世界を見つめたながら盛岡の地域に根ざした活動を多くの方々と支えながら続けて来ました。維持会員とは、盛岡YMCAの使命に賛同し盛岡YMCAの活動を支えるため、維持会費を払って会員となった方々です。

◆盛岡YMCAの維持会員としてYMCAの諸活動をお支え下さい。申し込み方法は、YMCAにお問い合わせ下さい。

あの頃は～♪若かった～♪③

獅童(しどう)スタッフの巻



こんにちは！しどうです。今回子どものころを書かせていただくことになりました。僕は果たしてどんな子どもだったんだろうか…あまり記憶にない中でご紹介します。

小さい時から基本的に外で遊ぶのが好きで、野球をしたりドッジボールをしたり、男の子も女の子も関係なくみんなであいわいと遊んでいました。

そんな僕が保育園の年長クラスの時、お昼寝の時間に仲の良かった友だちと部屋の中で野球をしていたのが見つかり、担任の先生にがっかり怒られたことがありました。しかも、やっていた僕だけでなく同じクラスの子が全員。その時にやっていいことは何なのか、やってはいけないことをやっている人を見た時に周りには何をしなければいけないのか、その日は迎えが来るまで先生にお説教を食らっていました。

あの時は自分がこんなに怒られている意味も分からずでしたが、今考えてみると、人として大切なことだったんだなあと思いつつも、相変わらず調子に乗り過ぎてしまう自分がいることに嬉しかったり、あちゃ～ってなったりです。

こぼれ種②

「一つになる」…って？

日本基督教団 内丸教会牧師 中原眞澄

日本人は集団主義だ…よく言われます。そんな積りはない…と思っても、外からの目が意外と当たっているものです。聖徳太子の頃から「和をもって尊しとなす」を大切にしてきた国ですから、異を唱えることにはばかる空気はあったでしょう。でも考えてみれば「和」とは、違うものがその違いに関わらず調和している状態を指し、決して「同一」という意味ではありません。それがいつの間にか和＝同・同じでなければ…となり、そうした同化の圧力は今も、弱まるどころかますます強まっているようです。そうした事情が集団主義と言われるのでしょう。



東京YMCAで仕事をしていた頃、帰国子女と呼ばれる子が何人か来ていました。彼らが訴えたのは「外国に行った時より、日本に帰って来た時の方が大変」…学校で少しでも他の人たちと違う自分を見せようと、途端に仲間外れ・イジメに遭う…そんな苦勞を語っていました。

YMCAの昔からの標語に「みんなが一つとなるために」があります。集団主義そのまま！…と思うかも知れませんが、でもこの「一つ」は、英語で言えば unite=「結束・結合して一つとなること」で unify=「一様・画一にする」ことではないのです。「YMCA」とは、それぞれの違いを豊かさとして受け止めて、その違いが実際に豊かに活かされるよう、皆が信頼し結び合い、一つとなって目標(キリスト教的に言えば「神の国」)に向かっていく、人と人との結合体を言うのです。決して、建物やプログラムを指すものではありません。

「和して同ぜず」という言葉も、かつての日本では大切にされていました。私が学生だった40年ほど前には「連帯を求めて孤立を恐れず」という標語もありました。何のために、誰と繋がり、力を合わせていくのか。自分自身であることを大切にしつつ、「一つになる」ことを求めていきたいものです。

「すべての人を一つにしてください」(ヨハネ福音書17章21節)

表紙の写真から



インターナショナル・ミュージック・フェスティバルのフィナーレには出演者も観客の皆さんも一緒になっての合唱が恒例となっています。今年は、「WE ARE THE WORLD」で幕を閉じました。皆さん忙しい中、多くの労力をかけて参加して下さっています。日本語を母国語としない人たちが多く、お互いにその日本語を駆使しての準備ですからハブニングは日常茶飯事。でも、それも怪しげな日本語のジョーク？で吹き飛ばしなら楽しんでいる主演者のみなさんのバイタリティ、「生きる力」いつもながら脱帽です。(濱)